

安全データシート

作成日 2022年 3月 11日

改訂日 2023年 2月 28日

1. 製品及び会社情報

製品名	強力接着剤多用途ツインパック
品番	NS-810-2P
コード	29-766
会社名	プラス株式会社
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12階
担当部門	CSR本部 品質保証部
緊急連絡電話番号	03-5860-8005
FAX番号	03-5860-8013
E-Mail	env_psc@plus.co.jp
整理番号	G05B2824
推奨用途及び 使用上の制限	接着剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分4

健康に対する有害性:

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない

急性毒性 (経皮) : 区分に該当しない

急性毒性 (吸入: 粉じん) : 区分に該当しない

急性毒性 (吸入: ミスト) : 区分に該当しない

皮膚腐食性・刺激性 : 区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷・目刺激性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない

発がん性 : 区分に該当しない

生殖毒性 : 区分2

環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分3

※上記で記載がない危険有害性は、「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

水性生物に有害

注意書き

【安全対策】

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

保護手袋・衣類・眼鏡を着用すること。

粉じん/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

緊急時を除き、環境への放出を避けること。

【応急措置】

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ただちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

特別な処置が必要である『4. 応急処置』を参照。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること。

火災の場合：消火するために『5. 火災時の措置』に記載の消火剤を使用すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量

成分	CAS No.	含有量 (wt%)	化審法
変成シリコーン樹脂等	-	50~70	既存
アクリル樹脂	-	10~30	既存
スズ及びスズ化合物	-	1~3	既存

※本製品には厚生労働省指定13物質・トリブチルスズ化合物及びジブチルスズ化合物は使用していません

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。
- 眼に入った場合 : 清浄な水で15分以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 二酸化炭素、泡、粉末
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特有の危険有害性 : 特になし
- 特有の消火方法 : 特になし
- 消火を行う者の保護 : 保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
- 消火方法 : 火元への燃焼元を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
消火には水スプレーにてタンク等の冷却を行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置 : 保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等を使用して作業する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立入を禁止する。
付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土等で困って流出を防止する。
- 回収・中和 : 少量の場合は紙、布、砂等に吸収させ、フタ付きの器等に回収する。
多量の場合は火花の出ないシャベル等で空容器等にすくい取る。
漏洩物中には滑り事故を引き起こすものがあるため、適切な方法で除去する。
自然発熱が起こる可能性があるため、除去作業に使用したウエス、砂等は適切な方法で廃棄する。
流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策事項 : 皮膚に触れないよう保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 硬化時にアルコールが発生する。引火性があるため火気厳禁で取扱う。
取扱い後は良く手を洗うこと。
- 接触回避 : データなし
- 保管
- 技術的対策 : データなし
- 混触危険物質 : データなし
- 保管条件 : 直射日光を避け、容器を密閉し、冷暗所に保管する。

容器包装材料 : 容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 特になし
許容濃度	: データなし
設備対策	: 蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	: PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
目の保護具	: 保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: ペースト状
色	: 薄白色半透明
臭い	: わずかにあり
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び上限界、 可燃限界	: データなし
引火点	: 約 85°C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に不溶
n-オクタノール、 水分係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.1g/cm ³ (23°C)
相対ガス密度 (空気=1)	: データなし
粒子特性	: データなし
その他の情報	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の手扱い条件では反応性はない。
化学的安定性	: 通常の手扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の手扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 高温、火気、スパーク

混触危険物質 : 酸、アルカリ、酸化剤
危険有害な分解性生物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : 混合物の急性毒性推定値 : 2000mg/kg 以上（区分に該当しない）
急性毒性（経皮） : 混合物の急性毒性推定値 : 2000mg/kg 以上（区分に該当しない）
急性毒性（気体） : 常温で液体のため、分類対象外
急性毒性（蒸気） : データなし
急性毒性（粉じんおよびミスト） : 混合物の急性毒性推定値 : 5mg/L 以上（区分に該当しない）
皮膚腐食性・刺激性 : 混合物の皮膚腐食性区分 2 以上に該当する成分濃度は 1%未満（区分に該当しない）
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 混合物の眼に対する重篤な損傷・刺激性区分 1 に該当する成分濃度が 3.0%以上あるため、区分 1 に相当
皮膚感作性 : 混合物の皮膚感作性区分 1 に該当する成分濃度が 0.1%以上あるため、区分 1 に相当
生殖細胞変異原性 : 混合物の生殖細胞変異原性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0.1%未満（区分に該当しない）
発がん性 : 混合物の発がん性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0.1%未満（区分に該当しない）
生殖毒性 : 混合物の生殖毒性区分 2 に該当する成分濃度が 3.0%以上あるため、区分 2 に相当
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露） : データなし
誤えん有害性 : 製品の 40°Cでの動粘性率が 20.5mm²/s 以上のため、分類対象外

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性） : 混合物の水生環境有害性 短期（急性）区分 3 に該当する成分濃度が 3.0%以上あるため、区分 3 に相当
水生環境有害性 長期（慢性） : データなし
生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

